

陳情第 9 号



骨髄等移植ドナー支援に関する陳情書

令和5年11月15日

霧島市議会議長 阿多 己清 様

陳情者 霧島市国分清水一丁目 24
国分中央ロータリークラ
会長 上原 昌彦

霧島市国分
濱田 和直

[陳情趣旨・理由]

国分中央ロータリークラブでは奉仕理念に基づくボランティア活動の一環として、白血病をはじめとする血液疾患のため骨髄移植などが必要な患者と、骨髄を提供するドナーをつなぐ公的事業である骨髄バンクの鹿児島県内における登録推進のボランティア活動を行っております。

骨髄移植を必要とする患者は、骨髄移植を唯一の治療法として望みをかけていることが多く、骨髄バンクはいのちを繋ぐために大変重要な役割を担っており、日本では骨髄バンク事業が開始された 1992 年からこれまでに多くの患者さんを救う実績をあげています。

骨髄バンクは、18 歳以上、54 歳以下の健康状態が良好な方を対象に、2ml 採血などの登録手続きを行い、型が患者と適合した場合に骨髄・末梢血幹細胞の提供を行います。

骨髄・末梢血幹細胞の提供者側は善意の協力となるため、提供期間中の仕事や生活面等の提供側の負担が大きく、ドナー登録を行なっても提供に応えることができない、ドナー登録自体をためらう、といったケースが見受けられております。

そのようなドナー提供者の負担軽減を図り一人でも多くのいのちを救うため、鹿児島市においては令和 4 年 4 月 1 日から骨髄等移植ドナー支援事業が実施されております。

骨髄及び末梢血幹細胞を提供されたドナーのための助成制度は、全国で 35 の都道府県が自治体へ助成制度予算を補助しており、鹿児島市を含む全国 1,015 の地方自治体・民間団体で導入されております（2023 年 10 月時点）。

また、厚生労働省は令和 6 年度の造血幹細胞移植対策費用を概算要求しました。

概算要求には、造血幹細胞移植のため骨髄バンク登録ドナーがドナー候補者となった場合に、提供ドナーに対してドナー休暇を付与した企業または助成を受けていないドナーに対し助成を行うドナー環境整備事業が計上されており、具体的内容の公表及び、今後の制度化が待たれるところです。

霧島市におかれましても、一人でも多くのいのちを助けるため、骨髄等移植ドナー支援について助成制度を設けていただきますよう、下記の項目を陳情いたします。

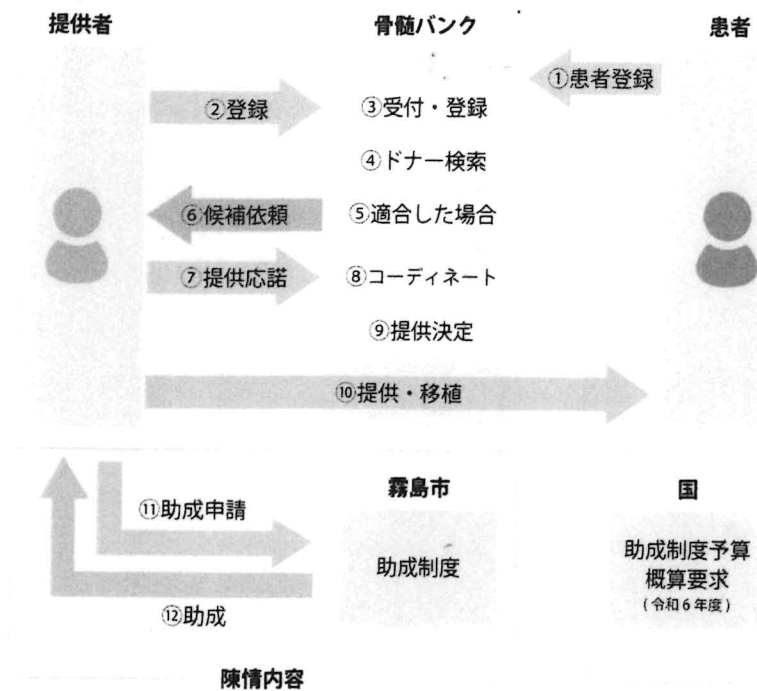
記

陳情事項

- 1、骨髄または末梢血幹細胞の移植の推進および骨髄等提供者の負担軽減を図るため、日本骨髄バンク登録の為の広報協力と、骨髄等提供者となった市民の方への助成を検討してください。

概要説明

- ・骨髄バンク登録から提供の流れおよび陳情内容について



予算が成立し、都道府県など地方公共団体への
実施要項通知が待たれます。

・候補依頼について

ドナーが見つかる確率は非血縁者間の場合、数百～数万分の1と言われており、移植を待つ患者にとって候補依頼を出せることはいのちを繋ぐためのかけがえのない希望となります。

・提供について

提供者はドナー決定から移植まで万全の体調を維持する必要があり、移植には一週間程度の通院・入院を行います。提供者側は仕事や学校を休む等、生活・経済面の負担が生じるため、ドナー登録や提供を辞退するケースがあります。

鹿児島県における骨髄移植の現状

	移植希望者	提供者
2022年度	26	11
2021年度	23	12
2020年度	30	12

・国分中央ロータリークラブ活動概要

2016年よりかごしま骨髄バンク推進連絡会議へ活動支援金を助成し、献血活動と共に骨髄バンク登録会も継続的に活動している。

2017年 骨髄バンクドナー説明員養成講座を開き、11名受講のうち5名が説明員となった。現在も骨髄バンクドナー登録説明員として6名の会員が登録している。

本会主催の骨髄バンク登録会の近年の実績

- 2022年4月21日 13名登録 (献血活動時)
- 2023年4月20日 3名登録 (献血活動時)
- 2023年7月30日 11名登録 (キリシまち事業時)